

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	11	大学等名	北九州市立大学
テーマ	テーマⅡ 学修成果の可視化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・全学的な教学マネジメントの改善に取り組んでおり、概ね改革は加速されている。また、北九大教育ポートフォリオシステムの開発により、学修成果の可視化にも取り組んでいることは評価できる。
- ・成績評価の平準化と厳格化、教育課程の体系化が進められており、また、必須指標において概ね目標を上回る達成状況にあることは評価できる。
- ・事業はほぼ計画通り推進され、補助期間終了後も体制面、資金面で事業の継続性が見込まれることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・全学的な教学マネジメントの改善については、学長の下で統一的に実施されているのか、あるいは、各担当部署がその責任の範囲で実施しているのかが不明確である。また、PDCAサイクルも機能しているように見えないため、明確にする必要がある。
- ・学修成果を把握するための各種のアンケートを実施しているが、その結果を教育改革にどのように生かしていくのか、その体制や方法が不明であるため、明確にする必要がある。
- ・学長の下に全学的な体制が構築されているが、この体制が事業の推進にあたってどのように機能しているか判断できない。また、外部評価の体制も整備されているが、平成28年度の外部評価において指摘された項目について、その改善の方策がとられているのか不明であるため、明確にする必要がある。
- ・テーマ別幹事校の取組として、テーマⅡ・テーマⅤの共同シンポジウム開催を予定しているが、テーマ、時期、場所、規模等、具体的な状況が不明である。計画の段階でもよいので、幹事校としてのスタンスを示す必要がある。